

ICT 活用プロジェクト・インクルーシブ教育プロジェクト

合同夏期講座の報告

大阪府支援教育研究会 研究部 平峰 厚正

夏期講座は、昨年度に引き続き府立支援学校を会場に2日間開催させていただきました。今年の会場は大阪府立光陽支援学校で、機能訓練室、多目的室、調理室、美術室、パソコン室、家庭科室、理科準備室など多くの施設をお借りして開催することができました。ありがとうございました。また、講座会場の準備でも、夏期講座前日より、機能訓練室の畳やマットの出し入れ、パソコン室のネット設定、ハンダを使った製作講座の段ボールマット設置など、講座準備、会場設営や周辺地域の食事場所マップ作りなど様々なご協力いただき、そのおかげで夏期講座に参加された方々から会場案内や会場準備等について気持ちよく受講できたと感謝の言葉をたくさんいただきました。本当にありがとうございました。

今年の夏期講座は、ICT 活用の理論、知っていると便利な情報、具体的な実践例など16の講座を実施しました。講座内容は、合理的配慮の策定ポイントの講座や視覚支援講座、通級指導教室の実践報告、Windows の入力支援（アクセシビリティ）講座、機器製作講座、自作ソフト製作講座、支援教材活用講座、教材作り講座、プログラミング講座（スクラッチ、マイコン）等でした。

今年も各講座は、60人規模の講座（ワークショップ形式等）から、少人数体制で講師の先生と参加者が身近にじっくりと活動できる講座等、様々な形態で実施し、受講者の方々からご好評をたくさんいただきました。

今年も大阪支援教育コンピュータ研究会から多数の方々のご協力をいただき、各講座の運営をスムーズに行える事ができました。初めての参加でも、困ったときの適切なアドバイスで安心して講座に参加できた等、多くの講座参加者から感謝の言葉をいただいております。毎年、ありがとうございます。

今年の二日間の参加延べ人数は、275名（初日144名、2日目131名）でした。今年も多くの受講者の方から、同じ講座を実施して欲しいとの要望がそれぞれの講座アンケートで書かれていました。来年度の開設講座の参考とさせていただきます。ありがとうございます。

講座アンケートのことですが、講座終了後、あわただしい中、提出していただき、ありがとうございました。毎年、アンケートの集約をする中で、改善点や講師の先生や講座補助スタッフの方への感謝の言葉が多く書かれていました。アンケートをまとめながら、参加者の方が来年も夏期講座に参加していただけるようにしたいと思っております。たくさんの方のおかげで毎年開催できている夏期講座ですので、また、たくさんの方のお力をお借りして、開催準備を進めていきたいと思っております。

来年度の開催時期は、8月の木、金曜日ということで8月16日（木）、17日（金）を予定しています。開催場所については、アンケートのご意見を元に早い時期に決定したいと考えています。

来年度の夏期講座の開催に向け、また、少しずつ準備していこうと思っております。ご参加、ご協力をよろしくお願い致します。

各講座の様子

A 講座

「事例から考える合理的配慮策定のポイント（その1, その2）」

講師 後上 鐵夫先生（大阪体育大学 教授）



講座内容&紹介

平成22年度より始まった大阪体育大学健康福祉学部「特別支援教育トワイライト研修会」の2017年度4月例会及び5月例会で後上先生からご講義いただいた「合理的配慮の策定」のお話を今回行っていただきます。「合理的配慮」を提供するに当たっての3つの観点①教育内容・方法、②支援体制、③施設・設備の各項目の設定ポイントと事例から考えた合理的配慮策定のポイントについて、詳しく教えていただけます。

講座の感想

- ・後上先生に流れるようにお話をしていただき、分かったような気になっていましたが、後半の事例検討の場で分からないことがまだまだ沢山あり、学んでいきたいと思いました。
- ・基礎的環境の整備と合理的配慮とは何かがよく分かりました。
- ・ていねいでたいへんよく分かりました。考え方のポイントもよく分かり、目からうろこの場面もありました。ありがとうございました。
- ・合理的配慮、基礎的環境整備について基本的な部分から分かりやすく話していただいた。特に若い先生にしっかり学んでもらって保護者と一緒に子どもについて考えてもらいたいと思った。

B 講座

「特別支援教育での ICT 活用情報の探し方」

講師 金森 克浩 先生（日本福祉大学 教授）



講座内容&紹介

特別支援教育での ICT 活用が広がってきました。しかし、一方で初めて特別支援教育に関わりました、という先生方も増えています。

この分野で長年ご活躍の金森先生から、「情報をどうやって探したらいいのか？」を中心にお話をさせていただきます。

講座の感想

- ・たくさんあるネット情報の中で、分かりやすく使いやすいサイトや検索方法を教えていただきありがとうございました。他校種の ICT 機器を使った授業を知ることができ良かったです。
- ・いろいろな ICT 活用のための情報を得ることができ良かった。インシデントプロセス法についても聞いてはいたが、実際にやってみることができ良かった。いろいろな立場の先生方とお話ができ良かった。
- ・先生の講座の内容&紹介にあった初めての特別支援教育に関わった一人です。支援教育ポータルサイトや KINTA のブログ等、大変有益なサイトを教えて頂くことができました。今後活かしていけそうです。ありがとうございました。

C 講座

「音声のみで使う iOS and 見えにくいに見える化する iOS」

講師 藤原 一秀 先生（エルピス・ワン代表）

森岡 健一 先生、今嶋 善幸 先生、大前 洋介 先生（神戸市立盲学校）



講座内容&紹介

iPhone や iPad に備わっているアクセシビリティ「VoiceOver」。この使いかたを弱視や全盲といった当事者の立場で使っている講師から演習形式で指南いたします。支援者としてこの機能をどのように支援に使うかを考えたいと思います。視覚への支援者ではなくとも、視覚情報とはいったい何なのかを新たためて考えるのにとってもよいチャンスです。

講座の感想

- ・丁寧にご指導頂き、本当にありがとうございました。これから練習を積んでボイスオーバーズに入れるよう頑張ります。2学期から、見えにくい子どものためにボイスオーバーの機能を使った教材の工夫ができればと思います。ありがとうございました。
- ・ボイスオーバーはおろか、iPad もお初だったのですが、知らないことを“知る”ことは大切だと思うし、いざというときに安心と思えました。覚えると色々な場面で活用できそうですね。手を煩わせ申し訳ありませんでした。楽しかったです。
- ・VoiceOvers の使い方がとても良く分かりました。その前に…このアプリがあることが分かって良かったです。アップル以外でもこのアプリが使えるのかが知りたいです。

D 講座

「iPad 実践講座 Keynote で教材作成」

講師 根本 貴明 先生（大阪府立箕面支援学校 教諭）



講座内容&紹介

Apple の標準 APP.keynote を使って教材作成をしてみませんか？これまでお伝えしてきた、スケジュール提示とは違った使い方も紹介します。皆さんと一緒にアイデアを共有したいと思います。

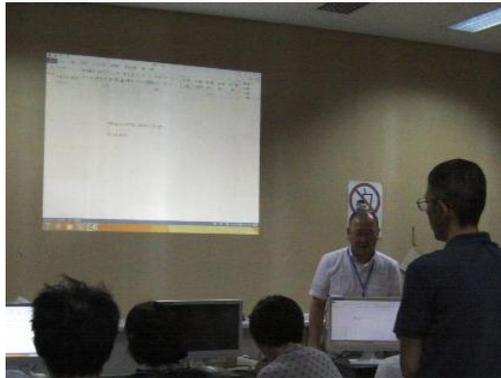
講座の感想

- ・Keynote の基本的な使い方が分かりました。あとは自分で教材を作り使い方を学んでいこうと思います。iPad での教材アプリについては貴重な情報ありがとうございました。
- ・とても楽しく分かりやすく学べました。今まで Power Point が中心で、Keynote を少しさわっては「わからない！」とめげていました。今日から使います！！
- ・実際に自分で作ってみたいこともあり、分かりやすかったです。キーノート使ってみたいと思います。ありがとうございました。
- ・Keynote は全く使ったことがなかったので、新しい世界が広がって良かったです。PP（パワーポイント）との違いがよく分かりました。教材作成に活かしたいと思います。

E 講座

「Windows の入力支援 ～ アクセシビリティと支援ソフト・機器の紹介～」

講師 伊丹 一弘 先生（大阪府立箕面支援学校）、田代 洋章 先生（日本支援技術協会）、
酒匂 泰智 先生（ケアショップハル）



講座内容&紹介

様々な障がいを持つ人たちにとって昨今流行のタブレットが必ずしも使いやすいとは限りません。つるつるのタッチパネルよりもマウスやキーボード、その他の機器を使ったほうが入力しやすい人がたくさんいます。Windows にはアクセシビリティという支援機能が標準装備されています。また多くの支援者たちによる支援ソフト・支援機器の蓄積があります。本講座は講義と実技の二段構えでおこない Windows の入力支援について皆さんと一緒に考えます。またここ2、3年できわめて安価に導入できるようになった視線入力装置の紹介をします。

講座の感想

- Windows のアクセシビリティや個々の事例に合わせた支援方法を具体的にお聞かせいただき、とても参考になりました。2学期からいろいろ試してみようと思いました。
- ICT とは…というレベルの悩みで参加しました。PC 操作をする上での学校でもすぐにできる設定などを教えて頂けて勉強になりました。ありがとうございました。
- 新しいアクセシビリティの機能を知ることができ、良かったです。
中学校の支援学級なので、また、使えるものは試してみたいと思います。

F 講座

「プログラミングが小学校で必修に！？Scratch でプログラミング体験&クリック教材制作」

講師 竹島 久志 先生（仙台高等専門学校 総合工学科 教授）
小林 拓也 先生（仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻2年）
昌浦 堯希 先生（仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻2年）



講座内容&紹介

Scratch は、MIT メディアラボが開発したプログラミング学習環境です。ブロック化された命令を並べることで、スプライト（キャラクタ）を動かすなどのプログラミングが小学生でもできます。多数のスプライトや背景が用意されているほか、お絵描き機能も有しているの で、オリジナルソフトを作れます。

講座の感想

- とても楽しかったです！工夫の余地がたくさんあることが分かりました。
- 講座のレジュメがとても丁寧で実習がしやすかったです。
生徒にも、是非、スクラッチでプログラミングをさせてあげたいなと思いました。
- あっという間の3時間でした。初めてのScratchプログラミングでしたが、どの様なものか少し分かったように思います。色々さわってみて、教材を作成してみようと思います。

G 講座

「初めてのマイコン教室（1）～早押しスイッチを作ろう～」

講師 浅田 寿展 先生（元兵庫県三田市立中学校技術科 教諭）

田中 敏弥 先生（大阪府立藤井寺支援学校）



講座内容&紹介

昨年度も開催した、マイコンを全く使ったことのない人向けの講座です。これからマイコンを触って、LED をチカチカしたい、音を出したい、スイッチで何かをしたいと思っているが、マイコンの初歩的なしくみを学びたい人に合わせて講座を行います。

昨年度は、BASIC などのプログラミング言語を使用しましたが、今年度は余裕を持って使える超初心者向け言語「アルドゥブロック」のみを使用します。

講座の感想

- ・知りたいことがあったので良かったです。今後はより深く学びたいと思いました。
- ・丁寧に教えて下さって、作ることができました。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・初めての回路を使ったプログラミングでしたが、分かりやすく授業等での活用の仕方も見せてもらえて良かったです。

P 講座

「初めてのマイコン教室（2）～水やり装置を作ろう～」

講師 浅田 寿展 先生（元兵庫県三田市立中学校技術科 教諭）

田中 敏弥 先生（大阪府立藤井寺支援学校）



講座内容&紹介

昨年度、または午前中の「初めてのマイコン教室（1）～早押しスイッチを作ろう～」の受講済み者向けの発展的な講座です。

未受講でも、リレーの使い方や簡単なプログラムを作ってマイコンに書き込んでみたいの方はご参加ください。この講座では超初心者向け言語「アルドゥブロック」を使用します。

講座の感想

- ・G、P 講座ともども、昨年も受講したせいか、とても分かりやすかったです。12月にする公開授業で活用させていただきます。ありがとうございました。
- ・学ぶことが多かったです。ありがとうございました。
- ・途中で複雑なところも、ゆっくりと時間に余裕もある中だったので理解しやすかったです。

H 講座

「通級指導の実践と保護者への啓発や巡回指導」

講師 赤瀬 瞳 先生 (富田林市立伏山台小学校 教諭)

磯口 多恵子 先生 (富田林市立大伴小学校 教諭)

土井 三和子 先生 (富田林市立川西小学校 教諭)



講座内容&紹介

大支援研 2015 年度冬季研修会で発表された「通級指導教室の実践報告 (富田林市の小学校通級指導教室の活動)」のパワーアップ版です。通級指導の実践は土井三和子先生、保護者への啓発は赤瀬 瞳先生、巡回指導の実践発表は磯口妙子先生がそれぞれ行います。子どもへのよりよい支援・指導をめざして、日々、協力し、新しい知識を追い求め活躍されている「のびゆくレディース」(赤瀬先生、磯口先生、土井先生)の発表を是非お聞きください。

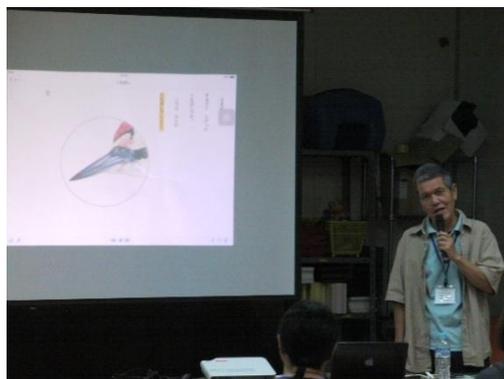
講座の感想

- ・通級指導教室についての研修がないので、今日はとても楽しみにして来ました。具体的で分かりやすかったので、あっという間に時間がきました。パワポの資料がほしい!と思ったくらいです。小学校でも取り組みたいので、また相談にのっていただけたらありがたいです。ありがとうございました。
- ・通級指導教室での個々の実践をていねいにアセスメントし取り組まれた事例はとても参考になりました。保護者支援も大切なポイントが分かりやすかったです。

I 講座

「マルチメディア DAISY の紹介と作成、事例報告 (支援学校等)」

講師 田中 直壽 先生 (大阪府立和泉支援学校)



講座内容&紹介

マルチメディアデイジー図書の紹介と大阪マルチメディアデイジー研究会が進めている小学校・中学校・支援学校でデイジー図書を使った授業実践の事例報告、それからプロデューサーや chantyinfy での DAISY 作成について紹介します。今年は、支援学校での DAISY 図書を使った実践について、詳しく紹介できます。

講座の感想

- ・デイジー図書の作り方を知れてよかったです。アプリのバリエーションもあり、早速作ってみようと思います。
- ・教科書だけでなく、自分で作成する DAISY のことをいろいろ知ることができ勉強になりました。子どもたちが少しでも興味を持ったり、苦手意識を減らせたりしたらうれしいなと思いました。ありがとうございました。
- ・マルチメディアデイジーの特長をよく理解することができました。事例の紹介も多様な事例をたくさん教えてくださって、私がこれまで知っている子どもの様子と重なると思いながら聴けました。マルチメディアデイジーの作成も簡単で分かりやすかったです。ぜひ自分でも作ってみたくかったです。

J講座

「コミュメモでみえるコムを」

講師 kingstone [大石博司] (「相談支援事業所 KS」「じんぶな〜」代表)

大前洋介 (神戸市立盲学校 教諭)



講座内容&紹介

自閉症スペクトラムの方への指導を高いテクノロジーでなくメモ用紙で、とりくみましよう。大切なのは、こどもを理解し、どのように伝えて、心理的な安心感を与えるか。かつての特別支援教育での実践経験を踏まえ、今、社会のニーズに応えるべく会社組織で活動する講師がコミュニケーションを見える化する技術を指南します。

視覚情報とはいったい何なのかを新たに考えてみるのにとってもよいチャンスです。紙と筆記用具による ICT の世界へどうぞお越しください。

講座の感想

- ・少人数の中でじっくりお話を伺うことができ、また、みんなの悩みごとに、みんなで考えてもらうことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
 - ・ありがとうございました。たくさんのヒントをいただきました。先生方みなさんのやる気が乗り移って(活気がいっぱい)、2学期からの気持ちのたて方も分かりました。
- 今日学んだことを2学期からの授業に組み入れていきたいと思います。ありがとうございました。

K講座

「iPad 実践講座 ロイロノートで教材作成」

講師 根本 貴明 先生 (大阪府立箕面支援学校 教諭)



講座内容&紹介

未来の文房具、ロイロノートをビデオ編集 APP.として活用してみましよう!

今回は個人を支援する実践例を紹介します。

講座の感想

- ・昨日に引き続きで、ロイロノートは簡単で、とても作っていてストレスがありませんでした。今年、初めての支援学級を担当したので、様々な可能性が見えてきました。学校には iPad がないので、個人で用意しないといけません、自分が前で指導するより、子どもたちが喜んでくれそうです。教師がやるのもいいですが、子どもたちに作らせたいと思いました。
- ・今まで、「使いやすい」と聞いていながら、うまく活用できていなかったロイロノートを実際に使えるレベルまで教えて頂きました。自分の動画編集だけでなく、担任している子たちにも使わせてみようと思います。丁寧に教えて頂き、ありがとうございました。

L講座

「パワーポイントで作るスイッチ教材ソフトの制作 ～オートスキャンもできるよ♪～」

講師 竹島 久志 先生（仙台高等専門学校 総合工学科 教授）

小林 拓也 先生（仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻 2年）

昌浦 堯希先生（仙台高等専門学校専攻科 情報電子システム専攻 2年）



講座内容&紹介

重度・重複障害児（知的障害を併せ有する重度肢体不自由児）の学習に必要となる、スイッチで操作できる教材ソフトをマイクロソフト社のパワーポイントで作ります。制作する教材ソフトは、(1)クリック教材（スイッチを押すと画像が変化・音がでる）、(2)選択教材（オートスキャンによりスイッチ1個で選択できる）の2種類です。パワーポイントはプレゼンテーション制作ソフトですが、アニメーション機能等を利用することで、手軽に教材ソフトが制作できます。

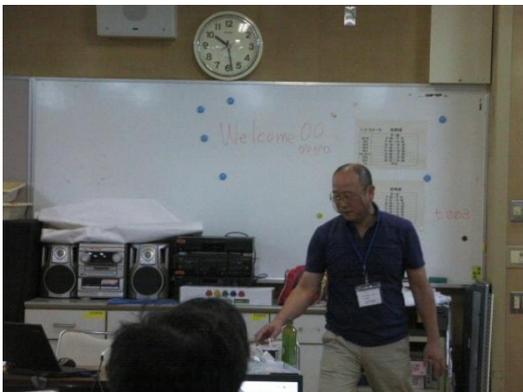
講座の感想

- ・楽しく実習できて良かったです。難しかったのですが、お手伝いをしてもらい仕上げられたので、今後の教材作りの参考にさせて頂きたいと思います。ありがとうございました。
- ・パワーポイントの使ったことのない機能をたくさん体験できて良かったです。
- ・パワーポイントも初心者でしたが、助手の方に親切に教えて頂き、作品を完成することができました。ありがとうございます。
- ・アニメーションの応用の仕方やハイパーリンクの方法をいろいろ学ぶことができ、とても参考になりました。工夫次第で、いろいろな教材が作れるかと思います。ありがとうございました。

M講座

「読み書きに困難のある児童生徒への ICT 活用(体験あり)」

講師 田代 洋章 先生(日本支援技術協会)



講座内容&紹介

読み上げ機能などを含むデジタルノートアプリ OneNote や Word の学習ツール、和太鼓の後継である Word の読み上げアドイン WordTalker、PowerPoint の文字学習スライドなどを紹介します。また、これまでの事例として特別支援学級や通級での学習効果を含む事例も紹介いたします。Windows 10 のタッチ対応 PC をご用意しますので、実機に触れながら一緒に体験していきましょう。

講座の感想

- ・アクセシビリティのアプリや使い方を詳しく教えて頂き、とても有り難かったです。2学期からの学習に是非、生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・最新の AT について教えて頂き、驚きの連続でした。
「タッチ&リード」でしかできないと思っていたことが、
「Office Lens」でできて、無料なのにすごいと思いました。

N講座

「iPad タッチャーの製作と iOS スイッチコントローラーの実習」

講師 金森 克浩 先生（日本福祉大学 教授）
禿 嘉人 先生（東京都立光明学園 教諭）
外山 世志之 先生（東京都立町田の丘学園 教諭）
谷本 式慶 先生（東京都立八王子東特別支援学校 教諭）



講座内容&紹介

製作する『iPad タッチャー（アイパッドタッチャー）』は、画面のタップ操作を外部スイッチでできるようにするものです。「静電ユニット」というものを、画面のタップしたい場所に置くと裏の粘着で貼りつけて外部スイッチで操作します。iOS「アクセシビリティ」の「AssistiveTouch」や「スイッチコントロール」を使用することで、用途が広がります。

講座の感想

- ・ iPad タッチャーを作ることができて、使用方法も分かり、これを授業で使ってみようと思います。ありがとうございました。
- ・ スイッチ作り実場面の具体的な利用方法、どちらも知ることができ、大変参考になりました。
- ・ 実際にハンダづけができて良かった。スイッチコントロールなどの基本的な事が分かって良かった。

O講座

「打楽器叩き装置の製作（ソレノイド使用、安全回路付）」

講師 金森 克浩 先生（日本福祉大学 教授）
禿 嘉人 先生（東京都立光明学園 教諭）
外山 世志之 先生（東京都立町田の丘学園 教諭）
谷本 式慶 先生（東京都立八王子東特別支援学校 教諭）



講座内容&紹介

市販のピンポンチャイムを利用し、チャイムを鳴らしている電磁石部分を取り出してケースに収め、スイッチジャックを取り付けてスイッチ入力で打楽器を叩けるようにしてあります。フレキシブルパイプ製のクリップを用いることで、楽器に合わせて取り付け位置を自在に調整できるようになっています。

講座の感想

- ・ ソレノイドを使った装置が欲しかったので、完成できてよかったです。ご指導ありがとうございました。学校に戻って、授業で使いたいです。
- ・ ハンダ付けが最小限で、パーツは多いながらも初心者の方にも取り組みやすかったと思います。
- ・ あまり知識、技能が無くても作れたことがよかった。たくさんの部品の準備、ありがとうございました。